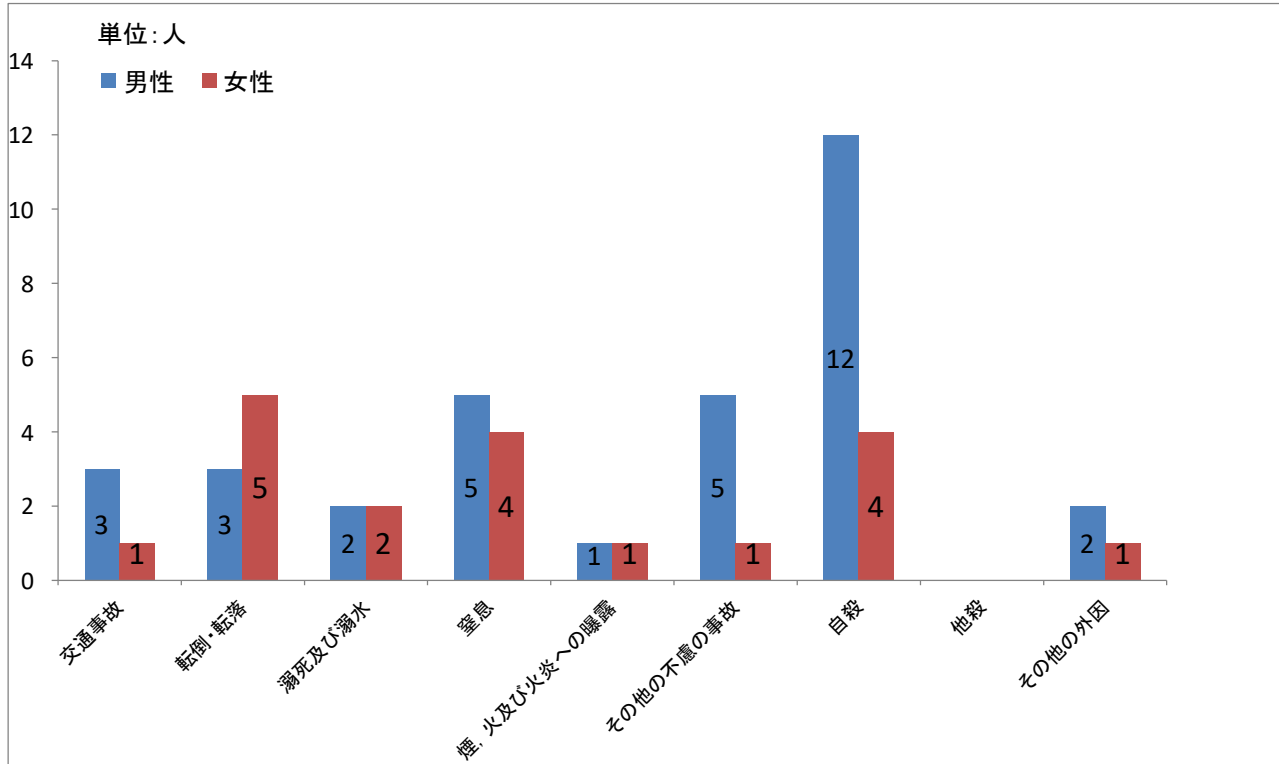


○令和5年（2023年） 十和田市における外因死亡について

表1 原因別、男女別

外因死の原因については、昨年同様、自殺が最も多く、全体の約31%を占め、次いで窒息、転倒・転落の順で多い。
男女別では、多くの項目で男性の割合が高い。



(厚生労働省 人口動態調査より)

表2 年代別

年代別に見ると、高齢者(65歳以上)が全体の約72%を占めている。

表1の原因別で多数を占めた自殺は20代から90代まで幅広くなっている。

高齢者の外因死では、自殺、窒息(8名)、転倒・転落(6名)の順に多くなっている。

(単位：人)

年代	交通事故	転落・転倒	溺死及び溺水	窒息	煙及び火災への曝露	その他の不慮の事故	自殺	他殺	その他の外因	合計
0歳～4歳										0
5歳～9歳										0
10歳～14歳										0
15歳～19歳										0
20歳～24歳							2			2
25歳～29歳		1								1
30歳～34歳							2			2
35歳～39歳										0
40歳～44歳	1									1
45歳～49歳							2			2
50歳～54歳		1	1	1			1			4
55歳～59歳							1			1
60歳～64歳						1				1
65歳～69歳				2			1			3
70歳～74歳	1		1		1	2	2		1	8
75歳～79歳	1	1	1	2						5
80歳～84歳	1	4					3			8
85歳～89歳			1		1	2	1			5
90歳～94歳		1		1			1		2	5
95歳～99歳				3		1				4
100歳以上										0
合計	4	8	4	9	2	6	16	0	3	52

(厚生労働省 人口動態調査より)

※数値については、厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用、独自集計しているため、公表数値とは一致しない場合があります。